

投稿規程

平成 25 年 5 月 25 日変更
公益社団法人日本鑄造工学会 編集委員会

1. 総則

この規定は鑄造工学会が刊行する会誌（鑄造工学，以下本誌という）に投稿される原稿の取り扱いと執筆，掲載に関する諸事項に関して定める。

1-1. 投稿資格

本会会員（正会員，学生会員，外国会員，名誉会員及び維持会員の代表者）は，本誌に原稿を投稿することができる（以後，この原稿を**投稿原稿**という）。連名者がある場合は第 1 著者を含む半数以上が会員でなくてはならない。

なお，編集委員会からの依頼（例えば，特集号用原稿など）により投稿する場合（以後，この原稿を**依頼原稿**という）は投稿資格を問わない。ただし，論文は投稿原稿と同一とする。

（注）講演大会後の投稿勧誘による原稿は投稿原稿として取り扱う。

1-2. 原稿の著作権

会誌に掲載された著作物（投稿原稿及び依頼原稿）の著者は，その著作権の行使を日本鑄造工学会に委託するものとする。

2. 原稿種別と原稿審査区分

原稿種別と原稿種類及びその審査は下記のようにする。

原稿種別	原稿種類	原稿審査	執筆要領
論文	研究論文，技術論文	2 人査読 (査読委員＋編集委員)	A
研究情報	研究速報，技術速報，技術報告 レビュー，学位論文紹介	1 人査読 (査読委員)	B-1
解説/講座	解説，講座		
現場改善	現場技術改善事例	1 人査読 (現場改善査読委員)	B-2
読者コーナー	インタビュー，Q & A 読者投稿(寄稿)	編集委員校閲 ＋ 編集委員会承認	C
シリーズ	シリーズ		
トピックス	随想，研究室紹介，工場紹介 トピックス，研究部会報告 支部だより，Y F E 活動だより 製品紹介コーナー	編集委員会承認	

投稿原稿の基準となるページ数は執筆要領一覧(原稿の内容と必要な項目)に示す.

3. 投稿

本誌への投稿にあたっては, 本規定及び鑄造工学会原稿執筆要領(以下執筆要領という)に従って原稿を作成する.

3-1. 原稿の送付(送信)

原稿は鑄造工学会編集委員会(以下, 編集委員会という)の事務局に送付(送信)する. 投稿時に著者チェックリスト(必要書類や留意事項)を使用, 漏れや不備がないことを確認する.

<送付先>

〒105-0012

東京都港区芝大門 1-10-1(全国たばこビル4階)

公益社団法人 日本鑄造工学会 編集委員会事務局 宛

Tel : 03-6809-2303 Fax : 03-6809-2330

e-mail : ifs-henshu@ifs.or.jp

3-2. 原稿作成時の使用ソフトの連絡

印刷時のトラブル(文字化け, 等)を避けるため, 本文・図・写真・表の使用ソフト(Word, 等)を編集委員会事務局に連絡する.

3-3. 原稿受付(原稿受付日)

送付(送信)された原稿の必要書類に不備がないことを編集委員会事務局にて確認, 受領する. 原稿を受領した日を「原稿受付日」とする. その旨を事務局から投稿者に通知する.

3-4. 投稿に関する留意事項

3-4-1. 二重投稿の禁止

論文(研究論文, 技術論文)及び研究情報(研究速報, 技術速報)は他の学協会誌又は刊行物に未発表のものであり, かつ他の刊行物に投稿していないものに限る. ただし, 以下の項目について補足, 再構成したものはこの限りではない.

(1) 学協会・委員会等で発刊された報告書・資料, 講習会・講演会・シンポジウム等のプロシーディングス, 講演論文集, 講演概要集に掲載されたもの.

(2) 紀要, 所「内」報, 速報, 学位論文類に掲載されたもの.

なお, この例外規定に該当する場合(他への掲載)は, 参考として投稿時に添付する.

3-4-2. 共同刊行誌「Materials Transactions」誌への投稿

(1) 「鑄造工学」掲載論文は発行日から1年以内であれば欧文で「Mater. Trans.」誌に投稿できる. ただし, そのことを脚注に明記する.

(2) 欧文で鑄造工学会に投稿し欧文査読を経て「Mater. Trans.」に掲載された論文は, 発行日から1年以内であれば, 「鑄造工学」に和文で投稿できる.

ただし, そのことを脚注に明記する.

(注)* 「Mater. Trans.」に掲載後1年以内であっても, 共同刊行の他学会の欧文査

読を経た論文は著作権が他学会に委譲されているため、「鑄造工学」に投稿できない。

4. 審査

- (1) **論文は2名の査読者**によって審査され、編集委員会で掲載の可否と掲載号を決める。なお、編集委員会は査読要領に沿って審査した結果に基づき、原稿修正を求めることができる。この場合、**投稿者は修正依頼日から1か月以内に修正原稿を事務局に送付しなければならない。2か月を過ぎて送付された原稿は新規受付扱いとする。**
- (2) **研究情報、解説/講座、現場改善は1名の査読者**によって審査され、編集委員会で掲載の可否と掲載号を決める。なお、編集委員会は査読要領に沿って審査した結果に基づき、原稿修正を求めることができる。**修正については上記(1)項と同様に対応する。**
- (3) **上記2項以外の原稿**は編集委員会の校閲を受け、掲載可否を決定する。編集委員会は査読要領に沿って審査した結果に基づき、原稿修正を求めることができる。**修正については上記(1)項と同様に対応する。**

5. 掲載決定原稿の取り扱い

5-1. 掲載決定（原稿受理日）

編集委員会で審査、掲載が決定した日を”原稿受理日”とする。掲載が決定した旨を事務局から投稿者に通知（掲載決定）する。

5-2. 掲載原稿の確認

掲載原稿は著者校正を1回行う。この際、原則として印刷のミス以外の修正は認めない。

5-3. 掲載原稿のデータ作成、提出

最終原稿は、原則として下記の形式に沿って準備する。

- ・本文・・・MS word ファイル
 - ・写真・・・<Windows> BMP, JPEG, メタファイル <Mac> PICT
- 投稿媒体：CD, FD, MO, USB メモリーとする。

これ以外の電子媒体については編集委員会事務局に問い合わせる。

なお、作成した電子原稿は速やかに編集委員会事務局に提出する。

6. 投稿料、別刷り料

6-1. 投稿料

- (1) 学会誌投稿原稿の投稿料

学会誌に投稿される原稿（投稿原稿、依頼原稿）の投稿料は無償とする。

なお、掲載論文の PDF ファイルは著者に無償送付（e-mail）する。

（補足）

投稿料無償化に伴い、従来論文掲載時配布していた別刷り 50 部は廃

止する。

6－2．別刷り料

(1) 投稿原稿の別刷り

別刷りを希望する場合には，原則，掲載決定通知受領後 1 週間以内に編集委員会事務局に連絡する。料金は表 1 とする。

(2) 依頼原稿の別刷り

別刷りを希望する場合には，原則，掲載決定通知受領後 1 週間以内に編集委員会事務局に連絡する。料金は表 1 の 1/2 とする。

表 1．別刷り料

(単位：円)

		3 頁以内	4 頁	5 頁	6 頁	7 頁	8 頁
別刷り部数	50 部	10,000	11,500	13,000	14,500	16,000	17,500
	100 部	14,500	17,350	20,200	23,050	25,900	28,750
	150 部	18,500	22,550	26,600	30,650	34,700	38,750
	200 部	22,000	27,100	32,200	37,300	42,400	47,500
	250 部	25,000	31,000	37,000	43,000	49,000	55,000
	300 部	27,500	34,250	41,000	47,750	54,500	61,250
	350 部	29,500	36,850	44,200	51,550	58,900	66,250

(補足) 別刷りは表紙つき。ただし，2 頁以内は表紙なし

※なお，上記一覧表に表記されていないものについては編集委員会事務局に問い合わせる。

7．カラー印刷料

7－1．カラー印刷料

会誌投稿原稿においてカラー印刷を希望される場合には，47,000 円/ページの印刷料を別途と支払わなければならない。

<参考>

原稿種類	原稿の概要
研究論文	鑄造工学及びその関連する分野の理論，実験，並びに技術などに関する基礎，基盤的な研究成果を報告する論文
技術論文	鑄造工学及びその関連する分野の生産技術，実験技術，応用技術などの工業的，技術的に有用な技術成果を報告した論文，あるいは技術データ・資料を調査・集約・体系化することにより新たに得られた技術的に有用

	な知見を報告した論文
研究速報	鑄造工学及びその関連する分野の研究や技術に関し速報としてまとめられた報告 ※再度，論文として再構成して投稿できる
技術速報	研究・開発・設計・生産の各段階で用いられて成果を挙げた実験技術，生産技術管理技術，設備導入，及びデータ・資料などを速報としてまとめた報告 ※再度，論文として再構成して投稿できる
技術報告	鑄造工学及びその関連する分野の研究・開発・設計・生産の各段階で用いられて成果を挙げた実験技術，生産技術，管理技術，設備導入，及びデータ・資料などをまとめたもの
レビュー	鑄造工学及びその関連する分野の研究論文や技術論文を取りまとめ紹介したもの，あるいはそこにまとめ者の見解を加えて紹介したもの
学位論文紹介	鑄造工学会の会員が取得した博士論文を紹介したもの ※再度，論文として再構成して投稿できる
解説	各種技術の内容や動向を平易に解説したもの
講座	学術及び技術の基礎的な事柄を専門家以外にも理解できるように教科書的に平易に記述したもの ※連載の形をとることもある
現場技術 改善事例	鑄造現場での改善事例（サークル活動の成果も含む）などを紹介したもの
シリーズ	あるテーマを取り上げ，継続的に記事を掲載するもの